

正しい知識で確実な防除を...



うめ



夏場の高温下では、梅の樹一樹あたり雨量換算にして約4〜5mmの蒸散量があります。この時期は光合成による養分蓄積の時期でもありますので、適宜灌水を行って下さい。7月から8月は梅の花芽分化期となり、翌年の状態を決める重要な時期となります。樹勢維持に努めましょう。

●お礼肥

7月に入ると一部の地域を残し、ほぼ収穫が終了します。

樹勢の回復を図り、翌年に向けて貯蔵養分の蓄積や花芽分化の促進・充実のために収穫終了後早急に施肥して下さい。

施肥量の目安は、反当りながみね粒



状態配合2号を7袋、又は千代田化成549を3袋施用して下さい。

●重点防除

○カイガラムシ類
(ウメシロカイガラムシ)

多発すると樹勢が著しく低下するので、5月に防除が出来ていない園や多発園では、7月(収穫後)に防除をして下さい。

○ケムシ類

ケムシ類が発生すると葉が食害され、翌年の生育に影響します。薬剤を散布し早期に防除して下さい。

●夏季剪定

収穫後から7月下旬にかけて、樹冠内部の真上に出た徒長枝を間引き、日当たりをよくして下さい。ただし、枝を切り過ぎると樹勢を弱め、日焼けによる枯れこみをまねくので、剪定量は徒長枝発生本数の3分の1程度として下さい。

ただし、樹勢の弱い樹では夏季剪定を行わないで下さい。

紀美野営農生活センター 浦 健士

対象病虫害	薬剤名	倍数	収穫前日数	年間使用回数
カイガラムシ類 (ウメシロカイガラムシ)	モスピラン顆粒水和剤	2,000倍	前日	3回
ケムシ類 モモヒメコバヤ	マブリック水和剤20	4,000倍	21日	2回

芽を発生させて来年の結果母枝を確保するのも有効です。

②着花量少樹

対策(生理)

落果防止

対策

できるだけ生理落果を少なくするため、着花枝近くの発育枝の芽かきやかぶさり枝の除去、昨年の成り跡(果梗枝)の間引き、新梢の緑化促進のために葉面散

表1 ※フィガロンは樹勢の低下している樹には散布しない

用途	薬剤名	時期	倍数	備考
局部全摘果	フィガロン乳剤	満開後	1,000倍	落としたい部位に散布
	タム水溶剤	10~20日	500~1,000倍	
間引き摘果	フィガロン乳剤	満開後20~50日	2,000倍	果径20mmを目安に

表2

病虫害	薬剤名	倍数	収穫前日数	散布回数	備考
黒点病	エムダイファー(水)	600倍	みかん: 60日 柑 橘: 90日	2回	温州みかんに限り400~600倍で使用可。
	ジマンダイセン(水)又はベンコゼブ(水)	600倍	みかん: 30日 柑 橘: 90日	4回	
カイヨウ病	icボルドー66D	80倍	—	—	自己摘心終了後
	クプロシールド(F)	1,000倍	—	—	ジマンダイセンと混用可能
アブラムシ	モスピラン(顆粒水溶)	4,000倍	14日	3回	5月下旬~
	モベントフロアブル	2,000倍	7日	3回	
カイガラムシ類	トランスフォーム(F)	2,000倍	前日	3回	5月下旬~6月上旬
	アプロード(水)	1,000倍	みかん: 14日 柑 橘: 45日	3回	5月下旬~
チャノキイロアザミウマ	アドマイヤー(F)	3,000倍	14日	3回	チャノキイロアザミウマ、ゴマダラカミキリ同時防除にグレースシアアフロアブル4000倍でも良い。※グレースシアの散布は6月上旬まで
	アクセルキング(F)	2,000倍	7日	2回	
ミカンハダニ	マシン油97%	200倍	4月~10月	—	6月中下旬

みかん



●生産対策

①着花過多対策

着花量が多い樹については、すそ、ふところにある日の当たらない果実は摘果しましょう。

樹体表面にある果実を摘果し過ぎると、摘果後から芽が出てしまい果実品質を落としてしまいます。ただし、労力的には負担になるので、その場合は摘果剤の散布も有効です。(表1)

また、六月中旬頃から樹冠上部摘果を行い、梅雨芽を発生させて来年の結果母枝を確保するのも有効です。

●除草

土壌水分が多い場合はゾーバー100倍【60日前/1回】(加用サーファクタント100倍とプリグロックスL500倍)を、また土壌水分が少ない場合はラウンドアップ系除草剤を200倍で使用して下さい。

●病害虫防除

表2を参考に防除を行って下さい。しもつ営農生活センター 吉田 侑生

●夏肥の施用
(中晩柑)

六月下旬頃に甘夏・八朔にチッ素成分12kg、清見にチッ素成分8kgを施用して下さい。

たねなし柿	時期	対象病害虫名	使用薬剤名	倍数	使用基準	
	7月上旬	落葉病	エムダイファー水和剤	600倍	収穫前日数	回数
		カイガラムシ類 カメムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	前日	3回

富有柿	時期	対象病害虫名	使用薬剤名	倍数	使用基準	
	7月中旬	落葉病・炭そ病	ジマンダイセン水和剤	400倍	45日	2回
		カイガラムシ類 カメムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	前日	3回

※ジマンダイセンは高温多湿時の薬害に注意する。

かき



摘果

摘果は早く行うほど効果が高いので、できれば7月末までには終了しましょう。摘果は果実肥大を促し、果実品質を向上させるために行いますが第一回目の選果でもあります。奇形果、傷果、へたに傷のあるもの、遅れ花の果実、日焼け果になりそうな上向きの果実を摘果し、形状がよくて緑色が濃く、へたが四枚揃ったきれいで大きい果実を残しましょう。

かん水

近年は、夏季に高温乾燥が続く、果実の肥大の抑制、日焼け果の発生、ひどい時には果実にしわの発生、落葉などが発生しています。かん水は、葉が萎れてからでは遅く、健全なときから開始しましょう。かん水の目安としては、一日約二〇～三〇mm程度を七日程度の間隔で行いましょう。

反射マルチの敷設

刀根早生の早期出荷対策のひとつであるマルチの敷設については、白マルチは7月下旬、シルバーマルチは8月中下旬に実施して下さい。

マルチに太陽光をより反射させるために徒長枝等の除去も行いましょう。

病害虫

カメムシの発生状況については各センターで調査を実施していますので確認しながら防除計画を設定して下さい。また、局地的に発生することもあるので、各園地を巡回し状況に応じて防除に努めて下さい。

紀美野営農生活センター 坪井 雅弘



代かき

代かきをしてすぐに田植えをすると、根の活着が悪くなり、根腐れや除草剤の薬害が発生することがあります。代かきから田植えは7日くらいあけて下さい。

田植え

田植の3日前から当日にスクラム箱粒剤を育苗箱1箱当たり50g散布して

下さい。除草剤と袋が似ているので、間違えていないかよく確認して下さい。

朝つゆがついている場合は、ほうき等で軽くつゆを落としてから散布して下さい。田植後、補植用の苗をいつまでも水田に放っておくともち病やウンカ類の発生源になるので補植が終わりしだい取り除いて下さい。

藻類の発生

高温になると、藻類の発生が多くなります。藻類が発生する圃場では、除草剤を使用する前にモゲトン粒剤3kg/10a（収穫45日前／3回）を使用して下さい。藻類が大量に発生している圃場に除草剤（特に投げ込み式パツク剤）を使用しますと、薬害の恐れがありますので注意して下さい。

ジャンボ対策

ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の多い圃場では、田植後2、3週間は被害が出ます。発生が多い圃場は、で

除草剤

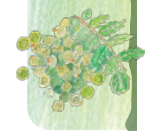
《田植え前》	
代かき直後～田植え7日前	サキドリEW 500ml/10a 原液湛水散布 又は ユニハーブフロアブル 500ml/10a 原液湛水散布
《初期一発除草剤》	
移植直後～ノビエ3葉期但し、収穫60日前まで	エンペラー1キロ粒剤 1kg/10a
移植直後～ノビエ2.5葉期但し、移植後30日まで	サラブレッドKAIフロアブル 500ml/10a
移植直後～ノビエ3葉期但し、移植後30日まで	エンペラージャンボ25g/パック 10個/10a

きるだけ浅水で管理し、ジャンボたにしくん1～2kg/10a（収穫60前／2回）を散布して下さい。

除草剤

除草剤は薬害の恐れがあるため、使用時期、使用量に間違いのないよう下記表の通り注意して散布して下さい。

山椒



樹の生理

7月になりますと新梢伸長期のピークとなり、この時期に充実した枝を作るかどうかで翌春の結実に影響します。また7月下旬から8月上旬にかけて山椒の花芽分化期となるので、この時期の天候が翌年の収量に関係し、天候不順が続くと不作になると考えられます。

収穫、乾燥作業

乾燥山椒の収穫時期となってきました。暑い中での収穫となりますので体調管理に注意しながら計画的に収穫を行いましょう。

収穫開始にあたっては農薬の収穫前日数を必ず確認し決定してください。乾燥については山椒の状態をみながら十分に乾燥させてください。また、保存についても乾燥戻りのないよう冷暗所での保存を心掛け、出荷前には再度乾燥状態を確認してください。

降雨時に収穫し、濡れている状態でそのまま乾燥を始めると変色の原因となりますので低温で水分を飛ばしてから乾燥をおこなってください。

海南営農生活センター 上森 悠平

令和7年度

地区別懇談会を開催しました



懇談会の様子



抽選会の様子

5月12日から3日間、管内の営農生活センター、支店において地区別懇談会を開催しました。管内3会場に総勢40名の地区委員、生産者部会の部会長、女性会・青年部役員等が参加し意見・要望をいただきました。県下ひとつの農協となり、今まで以上に組合員の皆様に頂きましたご意見を活かし、さらに「地域に根ざしたJA」を目指すことが目的で開催しております。

懇談会の最後にはお楽しみ抽選会を開催し、大いに盛り上がり終了しました。

令和7年度

ながみね地域本部女性会通常総代会を開催



落合公子会長による議事進行

ながみね地域本部会議室にて、令和7年度女性会通常総代会を開催しました。

開会にあたり落合公子会長は、「令和6年度において、『国消産産金めしグランプリ』を開催しとれたて広場来店者に国消産産をPRしました。今年度も元氣と魅力ある女性組織づくりと、社会に貢献する活動に取り組みますので皆様の積極的なご参加・ご協力をよろしくお願い致します」と挨拶しました。



総代会の様子

その後、令和6年度活動・収支報告、令和7年度活動・収支計画(案)など3議案を審議、全議案可決しました。

今年度は旅行やポツチャ大会などみなさんが参加しやすい活動を行います。皆様のご参加お待ちしております。



退職のお知らせ

退職 (令和7年4月30日付)

氏名	旧部署	
柳本 理菜	野上支店	依願退職

各支店・営農生活センターの 広報担当者の紹介

私たちが、地域やJAの事業・
取り組みについて情報を発信します。
よろしくお願いします！



- ① 神谷 美佑
「しもつ営農生活センター」
- ② 角 巴那
「海南西支店」
- ③ 浅見 奈央子
「海南営農生活センター」
- ④ 桑添 大輔
「野上支店」
- ⑤ 小早川 琴音
「しもつ支店」
- ⑥ 田中 夢海
「紀美野営農生活センター」
- ⑦ 山下 智美
「海南東支店」



組合員のみなさまへ…とれたて広場情報



ファーマーズマーケット

とれたて広場

ごゆっくりお買い物をお楽しみ下さい。

☎ 487-0900

毎週土曜日は「お米の日」

定休日 毎週水曜日とさせていただきます。
ごゆっくりお買い物をお楽しみ下さい



6月～7月のイベント情報

開催日	イベント	内 容
6月28日(土)～29日(日)	提携ファーマーズ物産展	ご当地の農産物販売
7月 5日(土)～ 6日(日)	提携ファーマーズ物産展	ご当地の農産物販売
7月12日(土)～13日(日)	桃まつり	桃特売イベント
7月19日(土)～21日(月)	桃まつり&提携ファーマーズ物産展	桃特売&ご当地の農産物販売
7月26日(土)	とれたて広場夏まつり	ヨーヨー釣り・スーパーボール・金魚すくいなど 楽しいイベント考え中♪
7月26日(土)～27日(日)	提携ファーマーズ物産展	ご当地の農産物販売



※農産物等の出荷状況などでイベントスケジュールに変更ある場合があります。 最新情報(イベント情報・営業時間等)は
※その他、毎週イベント広場は旬の農産物中心にイベントを開催します。 とれたて広場のブログをご覧ください。

■定休日…毎週水曜日とさせていただきます。

とれたて広場ブログ



令和7年度 全職員研修を開催



研修会の様子

紀美野ブロックを皮切りに全職員研修を行いました。開会にあたり岡野清隆本部長は「和歌山県農業協同組合が発足したが、依然として農業を取り巻く環境等が厳しい中、地域本部職員がONEチームとなってJAの役割を果たし、組合員に還元できる事が重要である。職員は効率良く仕事をし、生産性を上げると共に、各々事業部門が目標を上回る実績を上げて頂きたい。」と話しました。

その後、新入職員紹介や前年度各事業の実績報告、2025年度事業計画に関する説明を行いました。併せて、人権研修及び個人情報保護・コンプライアンス研修等を行い、役職員は改めて理解を深めました。

第4回 山椒部会総会を開催



上段順弘部会長の挨拶

紀美野町文化センターにおいて総会を開催し、107名が出席しました。開会にあたり上段順弘部会長は「部会員同士の情報共有と意見交換を行い、よりいっそう意欲的な山椒作りを行ってもらいたい。」と話しました。

続いて岡野清隆本部長より「同JAの山椒部会3支部が統合して4年が経過し、部会員数が29名で管内の部会の中では最も多い部会員数になります。最近では業者等からの引き合いも強く価格も安定しており引き続き有利販売に努めてまいります」と話しました。

総会では、令和6年度の事業報告や令和7年度収支計画（案）等があり、全議案全て可決されました。

とれたて広場 出荷者大会を開催



大会の様子

ファーマーズマーケットとれたて広場は第19回出荷者大会を紀美野町総合福祉センターで開催し、出荷者ら77人が参加しました。

岡野清隆本部長は「昨年は客単価も上がり実績は計画を上回る結果となった。これも出荷者の皆様のおかげである。これからも、さらなる集客率の向上に取り組んでいきたい」と挨拶しました。

中道良輔店長が令和6年度事業報告や令和7年度の取り組み方針他、ファーマーズマーケット利用取り決め事項など説明しました。

また「今後もとれたて広場と更なる活性化に向けて一緒に取り組みましょう」と話しました。

現在の出荷者登録者数は、760名。今後も委託販売拡大に向けて、各宮農生活センターと連携し新規出荷者の増加に取り組んでいきます。

女性会しもつブロック 日帰り旅行



びわ湖バレイにて

女性会しもつブロックは日帰り旅行を行い、滋賀県を訪れ、会員23人が参加しました。

メタセコイア並木を散策し今津サンブリッジホテルでランチバイキングを楽しみました。

その後、びわ湖バレイに行き、天候も良く水仙の花が見ごろを迎え、琵琶湖の一望の絶景を楽しみました。

参加者は「美味しいものを食べて時間をゆったりと過ごせた」と笑顔で話してくれました。

ファーマーズマーケット
とれたて広場



[担当]
海南支部

女性会の台所

グリーンピースと新玉ねぎの卵とじ煮

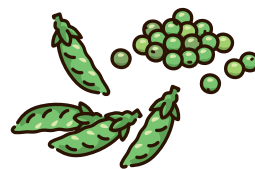
材料(4人分)

- グリーンピース(さやから出して).....400g
- 新玉ねぎ.....小2個
- 卵.....4個
- ・出汁.....200CC
- ・しょうゆ.....小さじ2
- ・みりん.....大さじ1強
- ・塩.....小さじ1/3

作り方

- ① 玉ねぎは太めの千切りにします。
- ② 鍋に①を合わせて煮立て玉ねぎ、グリーンピースを入れ沸騰したら弱火で10分位煮ます。
- ③ ③割りほぐした卵を回し入れ蓋をし、火を止めて好みの柔らかさにとじたら出来上がり。

今月の
おすすめ一品
～グリーンピース編～



*** 女性会海南支部より一言 ***

たっぷりの卵でとして、夕飯のひと品に。新鮮なグリーンピースは甘めが強く格別のおいしさです。食物繊維が多く含まれているのもうれしいです! 海南支部はフラワーアレンジやかご作りなど楽しく活動を行っています。ぜひ気軽に参加してください。

【問合せ先】

海南宮農生活センター ☎073-487-1935

～次回の「とれたて広場の1品」はオクラです。女性会下津支部がご紹介します!～

天気カレンダー

線状降水帯が予想されたら

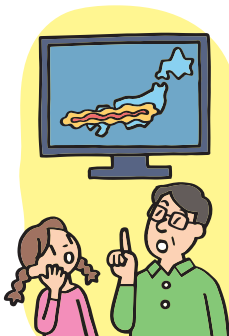
気象予報士

榎山 靖洋

活発な積乱雲が線状に連なると、同じ場所で非常に激しい雨が続き、集中豪雨になります。この線状に連なる積乱雲の雨の範囲を線状降水帯といいます。

線状降水帯が予想されると、気象庁は半日程度前に情報を発表し、警戒を呼びかけます。線状降水帯の予測的中率は4回に1回程度です。2024年はさらに低く、的中率は1割程度でした。ただ、実際に線状降水帯が発生しなくても、大雨になったケースは、予測したうちの3割以上ありました。線状降水帯の発生が呼びかけられたら、災害への警戒を高めることが重要です。

気象レーダーなどで、線状降水帯の発生が確認されると、気象庁から「顕著な大雨に関する情報」が発表されます。気象庁ウェブサイトの「雨雲の動き」や「今後の雨」を見ると、どこに線状降水帯があるか分かります。このようなとき、付近の地域にお住まいの方は、危険な場所から避難するなど早めの行動が必要です。



〇〇さん家のペット

～しもつ管内「土山 善史」さん家～

テオ(3歳)

サン(2歳)

土山さんのお子さんが「犬を飼いたい!」ということで3年前に「テオ」、2年前に「サン」を飼い始めました。

2匹ともとても大人しく人懐っこい性格。食べることが大好きで、お腹が大きくなってきたので食事制限しています。(笑)

散歩に行く時に「テオ」は嬉しそうにしますが、「サン」はリードが嫌いで動かなくなります。

土山さんにとって2匹は「大事な家族であり癒しの存在である」と話しました。

